

「小樽市新総合体育館基本計画(案)」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

- | | |
|----------------------|------|
| 1 意見等の提出者数 | 18 人 |
| 2 意見等の件数 | 51 件 |
| 3 上記2のうち計画等の案を修正した件数 | 1 件 |
| 4 意見等の概要及び市の考え方 | |

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	障がい者水泳について要望いたします。例えば、自分で着替えのできない障がい者の成人男性に母親が手を貸す場合、男性更衣室には入れず、高島小学校温水プールではトイレで着替えを行っていることから、畳1枚程度でも個室になるような着替場所を望みます。	プール室の障がい者用更衣室につきましては、障がい者団体からも御意見をいただいております、整備する予定です。
2	高島小学校温水プールは、水泳大会のとき、ベンチが狭いしシートが少なかった。計画では基本プール規格(25m×6レーン)だが、水泳大会のために、ベンチの場所を広くしてシートを多くして欲しいです。(観客用のものです)	新総合体育館のプール室には、プールとは隔離された2階に、80～100席の観覧スペースを設ける予定です。
3	プールは6レーンでも7レーンでも公認規格に合わない物ができないよう、十分に気を配ってほしい。	プール室の公認取得につきまして、公益財団法人日本水泳連盟と連絡を取り合い、慎重に手続きを進めてまいります。
4	せっかく新しくするプールですので 大会が開かれるプールの方が多くの人達に来てもらえるのではないのでしょうか。	新総合体育館のプール室では、基本計画案の資料編「8.プール室」に記載した大会などの開催を予定しております。 また、施設全般でバリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮し、障害のある方も運動できる環境を整備します。
5	健康増進、市民の交流の場ができることに期待しています。障がい者の水泳大会で受賞者が出る、小樽で大会ができる設備を切望します。向井流があるのも誇りに思います。	
6	プールは、大会ができるレーンを確保した方が人が集まり経済効果があると思います。	
7	プールは高島まで行かなくてよい。緑町なら行きやすい。	新総合体育館の事業予定地は、中心部に位置して利便性が高いことから「旧緑小学校跡地」としております。

No.	意見等の概要	市の考え方等
8	<p>プールを6レーンから7レーンに変更してもらいたい。敷地の問題だという事だが、せっかく公認プールとし、公認大会に対応できるようにするならば、あらゆる大会にも対応できるようにすべきである。通常は6レーンでもいざ大会の時は7レーンにできるよう知恵を絞るべきである。例えば、歩行用レーンの高さ調節とか入水スロープの取り外し等、今なら多様な技術がある。土地がないからできないではなく、将来に希望を繋ぐ施設にしてもらいたい。それが小樽の発展にも必ず繋がるはずだ。</p>	<p>新総合体育館の整備に当たっては、基本方針にあるとおり、人口推計や稼働率を踏まえた効率的かつ適正な規模とすることが重要であると考えております。また、諸室の配置計画から、プール室として使用可能な面積には限界があります。</p> <p>こうしたことから、プール室のレーン数につきましては、6レーンを基本とすることとしました。入水用スロープと競技用レーンを兼ねるなど、御意見いただいたような工夫につきましては、設計段階において検討させていただきます。</p> <p>なお、大会誘致に関しては、公益財団法人日本水泳連盟が定める「公認プール施設要領」などから、6レーンと7レーンでは、大きな違いは無いものと考えております。</p>
9	<p>プールを7レーンにすること。入水歩行用レーンも含めて7レーンにし、競技大会等の時には入水歩行用の床を取り除くなどして使用できる工夫をすることです。北海道の水泳発祥の地にふさわしい施設にすること。</p>	
10	<p>プールは利用者の要望を最大限配慮して欲しい。1月18日の市民説明会でプールを7レーンにして欲しいとの声がありました。公認プールの基準が分かりませんが、あと1レーン増やすことがどのくらいの費用になるのでしょうか。検討して欲しいと思います。</p>	
11	<p>体育館の新設と一緒に新プールの設置計画を聞いています。市民プールを廃止してから約20年になります。「プールなんかいらぬ」という声が出ていると聞きますが、子供を育て、健康的な市民生活を送るための施設として、無駄だとか、金が掛かるとかの問題ではないはずですよ。豊かな生活をつくるための生活水準として考えるべきだと思います。</p>	<p>市教育委員会としましては、市民の皆さんのスポーツ振興の観点から、プール室を備えた新総合体育館は必要と考えております。現総合体育館は老朽化が進み、耐震基準やバリアフリーについても基準を満たしていません。</p> <p>また、プールにつきましては、平成19年度の市営室内プールの廃止後、平成21年度には第6次小樽市総合計画において「新市民プール整備事業」を立ち上げ、以後、検討を続けてきましたが、市民の皆さんからの強い要望があるにもかかわらず、建設予定地の選定などに難航している状況にありました。</p>
12	<p>ようやくプールが建設されることになり本当にうれしいです。プールを利用してきた者としては、ぜひまた小樽で全道大会ができるようにして欲しいです。いろいろ大変と思いますが、ぜひみんなの声を反映して、良い施設を造って下さい。</p>	<p>こうした中、市では令和2年度の「小樽市公共施設再編計画」において、老朽化する公共施設の中で、現総合体育館が再整備の優先度が最も高い施設とし、併せて市民要望があるプールの併設を検討するとの方針を示しました。</p>
13	<p>プールを造るに当たって、市民のためを考え、市民の立場に立った計画を立てて欲しいのです。人生は1度しかありません。利益を優先するのではなく小樽市民として満足する事が出来たと言える市政を司ってください。</p>	<p>これを受け、市教育委員会では、令和3年度に「小樽市総合体育館長寿命化計画」令和4年度に「小樽市新総合体育館基本構想」そしてこの度市民の皆さんにお示した「新総合体育館基本計画案」と整備に向けて検討してまいりました。</p>
14	<p>今後、建設費が高騰しても造るのか。プールはランニングコストが高いが、今からでも立ち止まり中止すべき。</p>	<p>物価高騰による建設費の増や起債による将来の負担に不安を感じる方がいらっしゃることは承知しておりますが、市の負担圧縮に向けて今後も検討を続け、市民の皆さんの御理解を得ながら、新総合体育館の整備を進めてまいりたいと考えております。</p>
15	<p>小さな町でも立派な体育館がある。小樽もあっていいのでは。</p>	
16	<p>そもそも、プールを建設すると決めた頃と現在では市の状況も違いますし、プールを望んでいるのは我々高齢者です。若者の負担になるようであれば、私は反対します。</p>	

No.	意見等の概要	市の考え方等
17	各種スポーツ団体とヒアリングなどを行い、施設計画を作り込んだことを確認した。結果的に窮屈なレイアウトになっている。アリーナ、プール以外の設備や部屋の一部を地下1階に配置し、アリーナやプールを拡張することは考えられないか。つまり地下1階を現計画に対して追加すること。	新総合体育館の整備に当たっては、基本方針にあるとおり、人口推計や稼働率を踏まえた効率的かつ適正な規模とすることが重要であると考えており、これ以上の規模拡大は難しいと考えております。
18	多目的スペースや災害備蓄あるといい。	ヨガやダンス、展示会など様々な用途に使える多目的室と、災害時に必要な物資を常時備蓄する災害備蓄庫を整備する予定です。
19	各スポーツの大会ができる設備があるとよい。	現総合体育館で開催されている各種大会は、新総合体育館でも開催可能な規模となっております。なお、Vリーグなどのプロスポーツにつきましては、観客席数やアリーナのサイズから、公式試合の開催は難しいですが、エキシビジョンマッチや選手によるイベント等は、開催の可能性があります。
20	利用者の動線については一部示されているが、バスや自転車利用者のバス停からの動線を示した図を追加してほしい。緑2丁目からだけでなく花園公園通からも意識して。	御意見を踏まえ、第2章第4節外構計画「1.アクセス条件、敷地内の動線計画」に、図2-6を追加します。
21	第4章「事業手法」で、DBO方式を採用していますが、民間で、設計・建設を依頼どおりの規格・性能で行われるか不安に思いました。市によるチェックがあればよいのですが。	DBO方式などのPPP手法では、性能発注により設計・建設に民間企業の創意工夫が反映されることが期待されます。御指摘の発注内容と適合しているかにつきましては、専門的知識を持った職員がチェックします。
22	民間会社に建設、運営を丸投げにするのではなく、広域住民が利用でき、かつ大小様々なスポーツの試合が可能な施設を作ることを考えなさい。	市が令和4年12月に策定した「小樽市PPP/PFI手法導入優先的検討指針」では、「①整備に係る総事業費が10億円以上の公共施設整備事業」と「②運営及び維持管理に係る単年度事業費が1億円以上の事業」につきましては、PPP/PFI優先的検討の対象としています。
23	PPP/PFI手法は取りやめ 事業者選定にかかる無駄な2年間を無くし当初の約束通り2027年度完成で取り組むべきだ。(この2年間で物価は益々上がり費用も高くなる)これが多くの市民が望んでいることである。	本事業は、①②いずれの条件にも該当するため、小樽市PPP/PFI導入検討委員会で導入可能性について検討することとなり、その結果、PPP/PFI手法を導入すべきとの結論に至ったものです。事業スケジュールにつきましては、令和4年度に策定した基本構想でお示したスケジュールよりPPP/PFI手法のスケジュールを短縮しており、現在は、従来手法との差は、僅差となっています。
24	PPP/PFI手法について、昨年9月、広島市の給食サービス会社が全国規模で学校給食の提供を中断し多くの人に衝撃を与えました。自治体業務の民営化、委託先の問題を浮き彫りにしています。小樽市も新プール運営をコスト削減を最優先することから民間に委託する計画の様ですが、その民間もコスト削減を最優先することから品質の低下や委託先の地域外の企業が選ばれれば地域経済に悪影響を及ぼす可能性があります。地元の小規模事業者が疎外され地域社会全体が疲弊する恐れがあります。地域事業者の活用と品質監視体制について行政がしっかりと監視し必要な場合には指導や罰則を課すことも必要と成ります。市方針の見直しも含め検討を開始すべきです。	なお、事業者を公募するに当たっては、地元企業の参画を条件付けるなど、地域経済への貢献について配慮してまいります。また、全国では運営を委託する事業者の経営破綻により業務を停止するに至った事例があることは承知しており、こうした事態を避けるためには、施設の運営状況などを適宜モニタリングしていく必要があると考えております。
25	PFI方式は後々のことを考えると採用すべきではありません。利用者の声を反映して建設して下さい。	

No.	意見等の概要	市の考え方等
26	1月18日に実施された市民説明会において本体の概算事業費は今後の資材や人件費の高騰を織り込んでいないことの説明を受けた。しかしながら、基本計画としては考え方を設定して将来の見込み値を概算事業費として記載すべきである。財政部と調整後の市の見解を確認したい。	建設費につきましては、近年建設された他都市の事例を基に、時点補正と地域補正を行い算出しております。現時点では、将来の人件費高騰や道内他都市の大規模事業の影響など、予測による費用加算は行っておりません。 事業費は国が示す指数などを用いて適正に見込む必要があり、事業者選定の段階において、再度精査します。
27	本体建設費は時点補正と地域補正を行ったとあるが、5年後の令和11年度の運営開始を想定し、数年先の資材高騰、人件費増を反映しているのか。人件費については大手企業は7～11%/年の増加を検討していることから少なくとも5%/年の増加を5年連続とした場合の増加率は織り込んだ方が良く考える。	
28	初期投資費の変動要因について、事業スケジュールを意識した資材及び人件費の高騰についてどのように考えているのか示すべき。	
29	建設費はラピダス半導体工場の建設による建設費高騰の影響などは含まれているのか。	
30	本体建設費以外の費用について次に示す項目の経費が織り込まれているかどうか確認する。 (1)IT機器類を接続するLAN設備: 体育館の効率的な運営を行うためのシステムと災害時にDX対応のシステムが稼働すると想定され、これらの前提としてLAN設備が必須 (2)Wi-Fi設備: 市民交流スペースには必要 (3)大型映像装置: 競技スコアの表示や、にぎわい創出機能としてのパブリックビューイング支援機器として必須 (4)新総合体育館の入退室管理システム、予約システム	新総合体育館においては、LAN設備、Wi-Fi設備、予約システムの導入を想定しております。 大型映像装置、利用者用の入退室管理システムについては、現時点では想定しておりませんが、今後、事業者提案により導入を検討する可能性はあります。
31	ランニング、ウォーキングについては24時間利用できるようなことを配慮して欲しい。	開館時間につきましては、市民アンケートの結果から、現総合体育館と同じとすることを基本とします。
32	維持管理・運営費について、実績をベースに試算とあるので、事業スケジュールを意識した資材及び人件費の高騰について未反映と推察される。㎡単価をH28～R1の実績を平均値とした考えは間違いと考える。	維持管理・運営費は、実績をベースに時点補正を行って算出しております。現時点では、将来の人件費高騰など、予測による費用加算は行っておりません。 事業費は国が示す指数などを用いて適正に見込む必要があり、事業者選定の段階において、再度精査します。
33	利用料については単年度収支を意識してどのような考えで設定するのか本計画に記載すべきである。	収入の見込みにつきましては、新たな使用料の設定と併せて、今後、検討してまいります。
34	建設費は国等の補助金を活用するかと思いますが、年間1億5千万円以上かかる維持管理・運営費は、未来の子供達に重くのしかからないか。	維持管理・運営費は、他都市の事例と比較しても適正な負担額と考えておりますが、今後も更なる圧縮に向け検討してまいります。
35	国庫補助以外の起債と一般財源と示される部位は小樽市(市民)の負担と理解する。事業費のどの程度が市の負担となるのか30年の返済として単年度数値を示してほしい。	国庫補助や起債の具体的な金額等につきましては、今後、国や北海道と協議の上、決定します。現時点で具体的な数値をお示しすることはできません。

No.	意見等の概要	市の考え方等
36	<p>以前のパブリックコメントでも提言したように、クラウドファンディングで全国から援助、募金を募り、特に道内の市町村に働きかけ(仮称小樽市道民体育館、プールとでもしておいて、命名権を売りに出せば良い)他の市町村と合同の大会を開く等、道民に広く利用してもらえる施設を売りにする。</p>	<p>新総合体育館の建設コストとランニングコストの削減に向け、御提案いただいたネーミングライツの活用やその他の収益を得るための施策について、今後も検討してまいります。</p>
37	<p>過去のしがらみのない、ネットを使いこなせる若者を登用、採用して、今回の計画を白紙に戻し、各地の「地域協力隊」等の協力も仰ぎ、可能な限りの地域で補助金、寄付、募金を集める。運営もITを導入して人件費を抑える。まず、早急に近隣市町村、道内に官民間問わず応援を求め、相談する事を推奨する。</p>	
38	<p>これからは多様性に配慮した施設が必要です。とりわけ、トイレ・更衣室は悩ましいのではないのでしょうか。後で困らないような検討が必要です。バリアフリーも重要です。また、気分が悪くなったりしたときの休養室なども必要ではないのでしょうか。</p>	<p>施設全般で、バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮します。なお、気分が悪くなった方への対応としては、救護室を予定しております。</p>
39	<p>第1章第2節「1. 基本理念」と「2. 基本方針」は、各種障害者も含まれるのか疑問に思いました。「誰もが集い」や「市民のスポーツ活動を推進し」、「気軽に市民が集い」とあるので、文言中に障がい者を明記した方が良いように思いました。関連して、計画案は障がい者のスポーツにも対応できるのか分からず、疑問に思いました。</p>	<p>基本理念・基本方針につきましては、基本計画に先立って策定した「基本構想」において、市民アンケート調査結果などを踏まえて定めており、基本理念の「誰もが集い」には、当然、障がいのある方も含み、施設全般で、バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮します。</p>
40	<p>第2章第3節2(2)③で再エネに太陽光発電を採用していますが、周囲への環境負荷や太陽光パネルの寿命に伴うリサイクルあるいは廃棄の環境負荷はきちんと評価されているのか疑問に思いました。経済性が本当に劣るのか疑問ですが、逃げていく熱エネルギーの有効活用と言う観点で、残り2つの地中熱と雪氷熱の方が環境負荷は良くないように思います。</p>	<p>太陽光発電は、15年間使用する条件で試算しており、廃棄の環境負荷などは評価しておりませんが、経済性、実現性、防災機能、ZEB化評価から総合的に判断しております。</p>
41	<p>今回の計画では省エネ・節電・再エネについて工夫されていることに賛意を表します。今後の時代の趨勢からより再エネを活用すべきです。具体的には現体育館後にできる駐車場は屋根付きとして、その上に太陽光パネルを設置して発電すべきです。太陽光パネルは飛躍的に改良されていて、より安価で高性能のパネルが設置可能です。積雪対応可能な垂直式パネルもあり、駐車場に屋根があれば積雪時も除雪の必要がなく、また災害時には雨等が避けられる避難場所にもなり得ます。</p>	<p>新たに整備する駐車場は、小樽公園全体の駐車場として、現総合体育館跡地の地形を踏まえて、整備計画を検討しますが、屋根と太陽光パネルの設置につきましては、コスト面から難しいものと考えております。</p>
42	<p>施設火災の際の避難経路や動線、消防車両の動線等が、気になりました。火災の際、安全に逃げられる構造になっているのか、記載があると良いと思いました。</p>	<p>基本計画におきましては、基本となる動線のみ記載しております。緊急時の避難路等の詳細につきましては、今後、設計段階において検討してまいります。</p>

No.	意見等の概要	市の考え方等
43	<p>(災害に強い施設に)計画でも災害に対応できるように考えられています。能登半島地震でも明らかのように、水道の破壊が大きな問題になっています。とりわけトイレが使えなくなることが衛生状態に影響します。今回、プールが併設されたことで、下水が壊れなければ利用できる訳で大きなメリットになっていると思います。非常予備品の備蓄庫を体育館外に設けるなどの検討も必要だと思います。</p>	<p>御意見いただいたとおり、プールの水は、災害時の利用や火災の際の消火水としての利用を想定しております。</p> <p>また、災害備蓄庫につきましては、施設内に整備する予定です。</p>
44	<p>以前に利用者等のアンケートも読ませて頂いたが、現状も新しい体育館も、本当にごく一部の市民や団体の利用に限定されないか。(そう予想できてしまう数値結果だったと記憶しています。)</p>	<p>新総合体育館では「にぎわい創出機能」として、市民交流スペースやキッズスペースの設置により、運動をしない市民の皆さんが足を運ぶ機会や様々な世代の方が交流する機会を創出します。</p>
45	<p>広報おたる等だけでなく、若い世代への周知と理解、若い世代がこれなら利用すると可能性を感じられるような計画内容にしてもらいたい。(そもそも、新体育館建設の話しを、若い世代がどれだけ知っているのかも疑問です。)</p>	<p>新総合体育館の基本構想と基本計画につきましては、新総合体育館の今後の整備の基礎資料となる内容を決定することとなるため、各計画案が固まった時点で、市民説明会とパブリックコメントをそれぞれ実施しました。</p> <p>今後につきましても、新総合体育館の整備状況や新しい使用料など、随時、検討状況について情報公開に努めるとともに、市民の皆さんの御意見を頂きながら、整備を推進してまいりたいと考えております。</p>
46	<p>1月18日に実施された市民説明会にて、新総合体育館オープン前の利用に関する説明を除き、仕様などに関する市民説明会は今回が最後の説明を受けた。令和5年2月に策定された基本構想、今回の基本計画において市民説明会やパブリックコメントが実施されたが、いまだに市民にまったく示されていない利用に関する仕様・項目は多い。例えば多くの利用者を獲得し施設の稼働率を上げる施策、その上での利用料の水準、収支(オープン後の一般財源での補助)等である。今後の市民への情報開示、意見・要望の受付に関する運用について明確にすべきである。</p>	
47	<p>運営は民間企業でと聞いているが、現状もウィングベイのプール等も、民間の運営で上手くいっていない印象がある中で、更には、今後負担を強いられる若い世代が知らないで建設だけが進んでいくのはどうなのかとってしまう。</p>	
48	<p>1月18日の説明会では正直詳しい内容はわかりませんでした。トイレ・エレベーター・更衣室など聞きたいことはいっぱいありましたが、消化不良です。詳細設計段階でぜひ市民の意見を聞く機会を設けてほしい。折角の新総合体育館が市民に不評になるようなことでは残念なことだと思います。</p>	
49	<p>後志の中核都市ともあろう小樽市が、せっかく新しく作る施設としてそんな中途半端なものを造ったら、地域全体の衰退を早めるだけだ。小樽市だけの事を考えるのではなく、近隣の人口減少著しい市町村を巻き込んで、皆で考えようと、協力を要請して回ったらどうか。</p>	<p>アリーナの規模や公認プールの採用などを検討するに当たっては、後志地域における本市の役割を念頭に検討を行っており、今後も、管内の自治体と情報共有を図ってまいります。</p>

No.	意見等の概要	市の考え方等
50	市は体育館に文化的なものを作って、運動しない人も利用させるようですが、運動施設を利用する人にとっては邪魔です。	新総合体育館の整備は、市民アンケートなどから導き出した基本理念「誰もが集い 未来へ続く 健康拠点」を基に進めてまいります。このため、スポーツ施設としての目的を果たすことはもちろんのこと、運動をしない方が足を運ぶ機会や、様々な世代の方が交流する機会を創出することも、目的の一つと考えております。
51	物販、店がありません、収益が見込めないとのことですが、体育館も大きな赤字、負債になることは予測できないのですか。ここに出店も見込めない、収益もつけれないのに、にぎわいを作るというのは、おかしいです。とにかく、若者の意見をよく聞き、比重を重くしてください。今の市長は市民の状況を分かっていません。	大会やイベントにおいて臨時的に物販を行うことは可能と考えますが、現総合体育館の現状などからも、常設の物販は採算的に厳しいと考えており、慎重な検討が必要と考えております。

* 同じ内容の意見が複数ある場合は、「意見等の概要」の最後に件数を記載してください。

* 計画等の案を修正した場合は、「市の考え方等」の欄に修正箇所を併せて記載してください。